

定期点検は大事です。

火災報知器の寿命約10年説

「見守るくん」も言ってます！トラブル回避のためにも
お取替え時期にご注意ください！！

設置から
何年たったか
覚えてなかったら
別の意味で
黄色信号！！



お客様自身で
交換する場合の
転倒や転落事故も
増えています！

当然
10年保証！

住宅用火災報知器は、古くなると
センサーの寿命や電池切れなどで
火災を感知しなくなることがあるため
とても危険なんです！

次の10年を安心して過ごすために
ぜひお取替えを！！

できればスプレー式消火器等の備えもあれば憂いなし！

今なら

全部屋+階段の6台(設置・交換・処分費含む)を
お得なセット価格で交換工事できます！！

TKRM-10(煙) 定価 6,050 円(税込)

現金
価格

44,000円(税込)

出張費・施工費込
[税抜価格 40,000 円]

※写真はイメージです。商品の色は、印刷の特性上実物とは多少異なる場合がございますのでご了承ください。
※現場の状況により、ご希望の位置に設置できない場合があります。※メーカーの商品変更等により掲載の商品がご用意できない場合があります。ご了承ください。



飯田グループホールディングス

株式会社 エイワンプラス

東京本社・仙台営業所・名古屋営業所・大阪営業所・広島営業所・福岡営業所

お問い合わせはお気軽にフリーダイヤルで！

☎0120-185-203

受付時間 9:00~18:00

エイワンプラス

2023年3月版

出典：国民生活センター発行「見守り新鮮情報 第360号」

見守り
新鮮情報

事例1 火災警報器から「火事です」との異常音が作動してびくりました。引きひもを引っ張ると音は止まった。タバコは吸わないし、煙も出ていなかった。(80歳代 男性)

事例2 早朝、急に自宅の火災警報器が鳴り出した。火の気はなく大丈夫だったが、あまりに大きな音で困った。また鳴ったらどうすればよいか。(70歳代 女性)



住宅用火災警報器の
寿命は10年が目安です

ひとこと助言

- 住宅用火災警報器(以下、警報器)は、火災をいち早く感知するためにも有用ですが、故障や電池切れ等により正常に作動していない場合もあります。いざというときに備え、警報器を定期的に点検することが大切です。
- 警報器の寿命は10年が目安とされています。本体に記載されている製造年等を確認し、寿命を超過したものは交換しましょう。
- 高所の警報器を点検・交換する際は、転倒・転落に十分注意しましょう。不安な場合は無理をせず、周囲の人などに依頼することも検討しましょう。
- 警報器の点検方法や、鳴ってしまったときの止め方等については、取扱説明書やメーカーのホームページ等で確認しておきましょう。

見守るくん

国民生活センター

見守り新鮮情報 第360号(2023年3月3日)発行 | 独立行政法人国民生活センター